

## 猿投山



### 霊峰 猿投山の概説

猿投山は豊田市の最北にあり、三河高原の北西端にも位置します。海拔629m。市内では炮烙山684mに次ぐ高さです。猿投山展望台から西及び南方面にかけ、眺望をさえぎるものはなく、濃尾平野、名古屋市街はもちろん、遠く、霞んだ知多半島、茜色に染まった伊勢湾、三河湾、それらの港に出入りする船影まで眺望することができます。また、北には美濃、尾張、三河三国の接点となっている三国山が間近に連なり、岐阜県の南部に接しています。猿投山は古くから霊山として土地の人々にあがめられ、山麓には、三河地方の有名神社である砥鹿神社、知立神社と並ぶ史跡に富んだ「猿投神社」があります。山体は全域が中生代にできた伊那川花崗岩の風化した土砂からなりたち、土壌的な悪条件のなかでも森林の保存が比較的良好で、629mの低山でありながら、深山のおもむきなこと欠きません。全域に植栽されたスギ・ヒノキが多いほか、この地域本来の樹木として標高500m付近まではツブライジ・アカガシ・ヤブツバキなど常緑広葉樹が多く、それ以上ではツガの巨木やイヌブナ、ミズメなどの落葉広葉樹が増えます。特に東の宮付付近はツガ、スギなどの巨木で昼なお暗く、古い歴史を物語っています。また、矢作川の支流、籠川・広沢川の源流は猿投山に渓谷を刻み、白い岩、白い砂とあいまって、美しい流れは昔も今も変わりません。

### 猿投(山名)・地名の由来

猿投山の由来について、土地の伝承には、猿投神社の祭神12代景(けい)行(こう)天皇が伊勢の国へ来られたとき、ペットとしてつれてきた「小猿」に穢(けが)れがあり、これを嫌って猿を山上から海へ投げ捨てたところから、猿投山といわれるようになったという説があります。また「サ」は狭をあらわし、「ナギ」は谷・大崩壊地形をあらわし、これが転じて「サナゲ」となったという説。事実、山中には断層線がはしり、花崗岩の風化した土壌のため、各所に大崩壊谷があり、今日でも治山工事が営々と続けられています。また、「サナギ」は古代の製鉄錬所のあった土地をあらわす言葉であるという説。さらに弥生時代に宗教的儀式として用いられたという鐿(さなぎ・銅鐿)は、古名が佐那技で、山の裏手の藤岡町側から山を望むと、あたかも三峰が銅鐿を三つ行儀よく並べたように見られるから、という説。同様に、山の南側にあたる豊田市街あるいは三河平野の安城方面から猿投山を望みますと、この鐿を扁平にした形に山体が似ているところから「さなげ山」と呼ばれるようになったという説。このように、地名の由来については諸説あり、確固たるものは存在しません。参考までに、豊田市手呂町で発見された銅鐿は現在豊田市郷土資料館に保存、展示されています。

## 天然記念物 球状花崗岩「菊石」



### 天然記念物 球状花崗岩の紋様

球状花崗岩は、黒雲母花崗岩中に白色の菊状紋様があるところから「菊石」と呼ばれるもので、最も美しく見られるのは、広沢川の清流が湯床状に走る露頭部分。水流とともに、あたかも「菊花」が水面に浮かびあがったように観察できます。球状花崗岩の菊花部分は、直径が4～8cmの球状体。周辺部と核心部に分けられ、核心部は石英、長石、黒雲母の集合体、周辺部はさらに傾斜長石、周辺部はさらに傾斜長石、黒雲母が花卉のように放射状に配列しています。なお、一帯は残念ながら天然記念物盗難防止のため、四周がフェンスで保護されています。

天然記念物指定(国) 昭和6年2月20日  
 “Chrysanthemum Rock” - a natural formation of granite and mica with an unusual flower-like pattern

## 猿投山へのアクセス



### 公共交通機関でのアクセス



【発行】〒471-8501 豊田市西町3-60 豊田市観光協会

【問合せ】TEL/0565-34-6642

豊田市観光協会ホームページアドレス

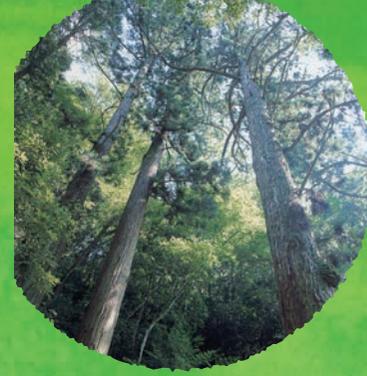
<http://www.citytoyota-kankou.jp.org/>

## 愛知高原国定公園

## 豊田市

# 猿投山 散策マップ

Archie Plateau Quasi-National Park  
 Mt. Sanyū, Toyota City



## 猿投神社



三河平野を見おろし、山容が秀麗な猿投山は、付近に移住した古代の人々からみれば、「神霊が鎮ります山」と信じられていたことでしょう。猿投神社の創建は西暦313年(仲哀(ちゅうあい)天皇のとき)ころにさかのぼるといわれ、12代景行(けいこう)天皇の第一皇子である大碓命(おおすのみこと)を主神として、両側に父の景行天皇(大足彦(おおたらしひこ)忍代別尊(おしろわけのみこと)、垂仁天皇(活(い)く)目(め)入彦(いりひこ)五十狭(いさ)茅(ち)の尊(みこと)がおまつりしてあります。山麓にある本社、頂上近くにある東の宮、西の宮の三社を総称して猿投三社大明神といわれています。

大碓命は、熱田神宮の祭神である日本武尊(やまとたけるのみこと)と双生児で、武尊のように東征を好まず、美濃の国に領地をあたえられて定着し、この地方の開拓に尽くしました。あるとき、この猿投山に登り運悪く毒蛇にかまれ、それがもとで山上で亡くなってしまいました。42才のときです。現在の西の宮裏手にある宮内庁管理地「大碓命御墓」がその地で、明治8年に今日見られる石造りの立派な墓地に改築されました。

猿投神社は上記のように歴史があり、国指定の古文孝経(こもんこうきょう)、猿投神社漢籍(かんせき)、ヨロイ(櫻鳥糸威鎧(かしどりいとどしよろい)大袖付)、行安の太刀(たち)や県指定の猿投神社革製竜頭馬面(りゅうずばめん)、正一位猿投大明神の扁額(へんがく)など、国・県の文化財を数多く所蔵しています。また、地方の豪族・武将・領主からも崇敬が厚く、寄進も数多く、徳川家康も776石大字猿投全域を神領となす旨の朱印状を出しており、これら寄進状も十数通現存しています。同神社で忘れてならないのは、「棒の手」の演技です。毎年10月第2日曜日とその前日の土曜日が祭礼の日であり、棒の手の奉納と火縄銃の空砲発射など近郊にはみられない雄壮なまつりがくりひろげられます。

### 猿投棒の手ふれあい広場



豊田市棒の手会館は、県指定無形文化財である棒の手の資料を一同に集め、展示・収蔵・研究のための設備を備えた本格的資料館です。ふれあいホールは、心のふれあいを通して潤いある地域を築いていくため愛知県により建設された施設です。

棒の手会館

【問合せ先】TEL/0565-45-7288 (月曜休館)

# 猿投山散策マップ

Archie Plateau Quasi-National Park  
Mt. Sanage, Toyota City

## オススメコース

登山コース距離 約13.3km  
所要時間 約4時間30分

- A** 登山者用駐車場・猿投神社山中観音堂 0.8km
- B** トロミル水車 0.5km
- C** お倉岩 3.3km
- D** 猿投山展望台 折り返し 0.6km
- E** 東の宮分岐 折り返し 0.8km
- F** 猿投神社東の宮 0.6km
- G** 御船石 0.4km
- H** 猿投神社西の宮 1.0km
- I** 血洗いの滝 折り返し 0.9km
- J** 菊石 2.4km
- K** 広沢天神 折り返し 1.7km
- L** 猿投神社 0.3km
- A** 登山者用駐車場・猿投神社山中観音堂

至 大阪箕面国定公園方面  
(瀬戸コース、瀬戸市赤津町「雲興寺」へ)  
三角点山頂より徒歩約2時間30分



## 春の猿投山麓～猿投のモモの花～



猿投地区は「モモの里」と呼ばれ、モモの収穫量は県下有数!春には山麓一帯にモモの花が咲き誇り、桃源郷のような世界が広がります。

## 秋の猿投山麓～猿投神社紅葉林～



秋になると、麓の猿投神社紅葉林は、真っ赤に染まり訪れる人を楽しませてくれます。

**注意事項!**  
 ■ 車は必ず駐車スペースに停めてください。  
 ■ 車上狙いにはお気をつけください。  
 ■ ゴミは持ち帰りましょう。